

三浦綾子 原作 山田火砂子 監督

われ弱ければ

矢嶋楯子伝

使命とは、
命を使うことです。
自分の命は、
自分で使うのです。



常盤貴子

石黒賢 渡辺いっけい 渡辺大 森三中 渡辺梓 星田英利 竹下景子

キャロリン愛子ホーランド 藤吉久美子 森岡龍 駒井蓮 小倉一郎 堀内正美 赤塚真人

磯村みどり 松木路子 露のききょう 神田さち子 キコ・ウィルソン 長谷川かずき 木村理恵 大原ますみ 後藤佑里奈 上野神楽 ジョニ・トマス

栗原小巻 (三浦綾子の声)

脚本:坂田俊子、山田火砂子、来咲一洋 音楽:朱花 撮影:高間賢治 照明:上保正道 録音:光地拓郎 美術:高津装飾美術 美粧:小堺なな プロデューサー:上野有
製作:株式会社 現代ふろだくしょん

あなたは使命を持って生きていますか？

いま、なぜ 矢嶋楫子なのか？

いまだに女性蔑視がなくなるらない日本で

映画「われ弱ければ ～矢嶋楫子伝～」が私たちに伝えるもの

天保に生まれ、明治・大正時代に生きた女性解放運動の先駆者、矢嶋楫子（やじまかじこ）。

三浦綾子著「われ弱ければ 矢嶋楫子伝」を原作に、女性の地位向上に尽くした矢嶋楫子の生涯を映画化すべく、「今こそ」とメガホンをとるのは、日本最高齢、90歳の女性映画監督、山田火砂子である。

常盤貴子演じる主人公、楫子は女子学院やキリスト教矯風会を作り、一夫一婦制、婦人参政権、禁酒、廃娼運動、アメリカでの軍縮会議に参加など数多くの功績を残す。著者、三浦綾子が、「もっと早くに、矢嶋楫子を知っていたならば、私の人生が大きく変わっていた」という言葉も残している。これまでに、知的障害児教育の母、石井筆子を描いた、常盤貴子主演「筆子・その愛一天使のピアノ」や、日本初の女性医師、荻野吟子の生涯を描いた、若村麻由美主演「一粒の麦 荻野吟子の生涯」など、明治大正期にかけて活躍した女性達を映画化してきた山田監督。

明治・大正という、女性が一人の人間として尊重されることのなかった時代に、女子教育に力を注ぎ、女性解放運動に捧げた矢嶋楫子の生涯を、現代を生きる女性達へのメッセージを込めて作り上げた本作。

あらすじ

1833年、洗濯のたらいも男女で分けるなど、男尊女卑の社会の中、現在の熊本県に矢嶋楫子は生まれました。25歳の時に結婚をした武士の夫は酒乱で、抱いている女の赤ん坊に向けて小刀を投げるなど、家族への度重なる乱暴に身の危険を感じた楫子は、末の子を連れて家出し、離縁状を叩きつけます。

離縁後、上京して小学校の教員になった楫子は、ミセス・ツルー(Maria T. Pitcher True[1840-1896])というアメリカ人の女性宣教師から女学校の校長先生の仕事をすすめられ、現在もある女子学院の院長となります。一夫一婦制、婦人参政権、禁酒、廃娼運動など、多くの活動に関わり、90歳のときにはアメリカで世界平和を強く訴えました。

天保時代に生まれ、明治大正という、女性が一人の人間として尊重されることのなかった時代に、女子教育に力を注ぎ、女性解放運動に生涯を捧げた矢嶋楫子の生涯を描きます。

○当日、体調の悪い方、体温が37.5度以上ある方は参加いただけません。

○参加される方はマスクの着用をお願いします。

○当日は受付時に手指の消毒にご協力ください。

*今後の状況により、上映が中止・延期となる場合がございます。

『われ弱ければ ～矢嶋楫子伝～』長岡上映会 会場 アオーレ長岡市民交流ホールA

日時 11月19日(土)10時～ 作品時間110分 *フードライブ同時開催

入場料 当日券のみ 1000円 障害者手帳、療育手帳をお持ちの方、高校生以下(学生証持参) 500円

主催 矯風会長岡 / 長岡アジア映画祭実行委員会! / 第36回ウィルながおかフォーラム実行委員会 / 長岡市

問 電話 0258-37-4282 (矯風会長岡 田中) e-mail nagaokatsukurukai@gmail.com

HP <http://nagaokatsukurukai.blog.fc2.com/> 作品 HP <https://www.gendaiapro.jp/yajimakajiko/>